

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 1 月（着任 0 年 7 カ月目）
主な活動	1 JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加 2 Q サポネット勉強会(地域鉄道とまちづくりの連携)参加

1. JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加

南九州市で開催された JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト第四回会議に参加しました。

参加メンバーから 4 名を選び、指宿枕崎線を活かすために取り組みたいアイデアの全体発表をしました。引き続き、グループに分かれて他のメンバーが出したアイデアを発表していきました。

他のメンバーが出したアイデアに、「こうすればいい」「これは一緒に取り組んでみたい」という意見が多く出て、時間が足りないほどでした。

地域住民のメンバーだけでなく、自治体などの行政、事業者である JR 九州様が一体となって取り組んで意見交換できる機会はありませんでしたので、会議のたびに新鮮な気持ちで臨むことができました。また、地域住民の方々が指宿枕崎線に愛着を持っていると感じるよい機会となりました。

駅を中心としたまちづくり。移動手段が自動車に代わった今となっては大変な取り組みかもしれません。しかしながら、鉄道の持つ利点を改めて認識できる、また、鉄道を活用できる手段を一体となって考えることができた機会を活かして、これからも取り組んでまいります。



2. Q サポネット勉強会(地域鉄道とまちづくりの連携)参加

福岡県にある甘木鉄道(基山～甘木間)を取り上げ、沿線でのまちづくりにどのように取り組んでいるか、現地を見ながら事例を研究しました。

西大刀洗駅周辺で街の機能を集約したこともあり、人口が増加している。特に子育て世代が増加している、との説明に、当市でも行かせる取り組みはないかを考えながら視察しました。

駅から離れた場所にある公園近くでイベントが行われており、数台のキッチンカーが出店していました。街の人たちが続々と集まってくる様子に、街のにぎわいを感じました。

その後、甘木駅まで行き、取り組みの説明がありました。街の機能を集約して便利にする取り組みを進めているとの説明に、都市機能だけでなく公共交通機関も利用者が増えるとともに、便利になっていくことを感じました。

駅中心のまちづくり、をテーマに日本大学の赤星客員教授からの講演後、参加したメンバーがグループに分かれて討議や意見交換を行いました。同じ課題でも視点の違いによって様々な意見が出ており、新たな発見をしました。

公共交通機関を木に例えた話の中で、様々な種類の木があるから、その土地に合ったものを作り出していくことが大切、という言葉に感銘を受けました。他箇所での取り組みを学んだうえで仮説と検証を行いながら取り組んでいきたいと思えます。

